

高島屋創業195周年記念展

TAKASHIMAYA CHRONICLE

タカシマヤ クロニクル

百・華・繚・乱

第Ⅲ期：繚の時代

戦後復興
と
多店舗展開

2026年 7月11日[土]—9月28日[月]

第Ⅰ部：7月11日[土]—8月17日[月] 第Ⅱ部：8月22日[土]—9月28日[月]

[入館無料] 休館日＝火・水曜日 開館時間＝10:00-17:00(入館は16:30まで)

※会期は変更となる場合がございます ※8月18日[火]～21日[金]は展示替のため休館

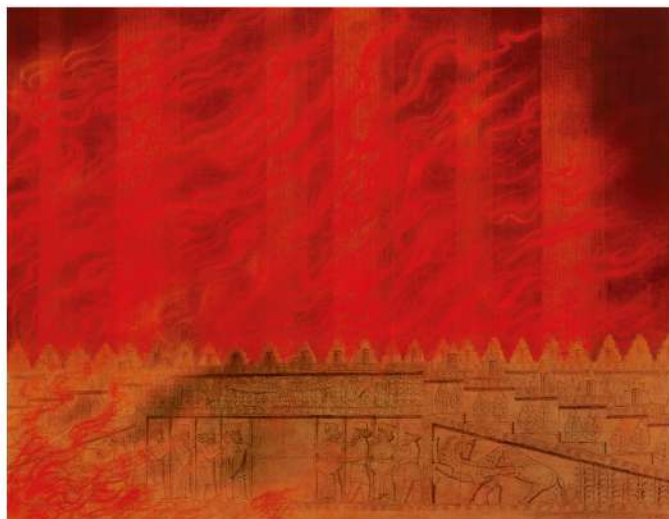
会場＝高島屋史料館 企画展示室

高島屋史料館

Takashimaya Archives

 Takashimaya

初公開資料から不朽の名作まで一挙公開!! / タカシマヤクロニクル 百・華・繚・乱



平山郁夫《ベルセポリス炎上》1976年【I部】



岡本太郎《東京店壁画原画》1952年【II部】



横山大観《蓬萊山》1949年【I部】



東郷青児《裸婦》年代未詳【II部】
©Sompo Museum of Art, 26017

高島屋の歴史は、1831(天保2)年正月、初代飯田新七が京都・烏丸松原で古着木綿商「高島屋」を創業したことに始まります。2026(令和8)年は、高島屋創業195周年にあたります。

高島屋史料館では、創業以来の史料や美術品、呉服、広告宣伝物など、高島屋の歴史とともに蓄積されてきた多種多彩な品々を収蔵しています。本年は会期を4期に分け、収蔵品を通して、高島屋の195年をご紹介します。それは同時に、日本の近現代史をたどることにもなるでしょう。

1945(昭和20)年8月、終戦。日本全体が普通の暮らしを取り戻そうと動き始める中で、人々の暮らしに寄り添う百貨店の復興もはじまりました。やがて、日本が高度経済成長期に入ると、各地に誕生していった百貨店。それは、戦後を脱却し成長し続けていく日本の象徴的な存在となりました。第III期は「繚」の時代と題します。「繚」とは「めぐり、まわる」時代。戦後復興期から多店舗展開を進めた昭和時代の終わりまでを取りあげます。

「百」「華」「繚」「乱」—各時代の高島屋をお楽しみいただければ幸いです。

※本展は会期をI・II部に分け、展示品を一部入れ替えて構成します。



ル・シック・タカシマヤ 1951~52年【通期】



金銭登録機 1950年代【通期】



エクスポートバザー ポスター 1949年【通期】



高岡徳太郎《ばら》1979年【通期】

イベントのご案内

※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止する場合がございます。

①②いずれも参加無料、要申込み、抽選制です。当館ホームページよりお申込みください。

① 講演会「高島屋の戦後復興と昭和という時代」 要申込み・抽選制

■講師=高井多佳子(高島屋史料館 研究員)

■8月2日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

② 重要文化財・高島屋東別館ガイドツアー 要申込み・抽選制

■講師=田中喜一郎(高島屋史料館 学芸員)

■7月26日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

■9月13日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

高島屋東別館の魅力を映像とガイドツアーでご案内します。通常非公開の場所もご覧いただけます。

企画展ギャラリートーク

第1・第3土曜日14:00~(約30分) ※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。

【アクセス】

南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、
近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分
近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分
※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住所】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25

高島屋東別館3階

TEL. 06-6632-9102

<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>

